

令和6年度2月補正予算案における将来に向けた対応

1 一般財源的な歳入 + 354 億円

県税	+ 141 億円
地方交付税・臨時財政対策債	+ 124 億円
地方消費税清算金収入	+ 37 億円
その他（地方譲与税 等）	+ 52 億円

2 歳出の執行状況（一般財源ベース） + 89 億円

県税交付金	+ 45 億円
臨時財政対策債償還費基金積立	+ 32 億円
※交付税の再算定で後年度に算定される償還費の追加交付があったことに伴う県債管理基金への積立て	
地方消費税清算金支出	+ 28 億円
その他（歳出不用 等）	▲ 16 億円

3 将来に向けた対応（1－2） + 265 億円

（うち後年度の地方交付税の減少に備えて確保しておくべき額 105 億円）

（1）将来の財源不足や事業の安定実施に向けた基金残高の確保 222 億円

	残高確保	年度末残高見込み（百万円）
財 政 調 整 基 金	168 億円	(R6) 31,728 (R7) 27,576 ※うち後年度の交付税の減への対応分 10,479
ＣＯ２ネットゼロ社会 づくり推進基金	15 億円	(R6) 2,335 (R7) 1,613
公共建築物等長寿命化等 推進基金	15 億円	(R6) 4,814 (R7) 4,566
県立大学整備基金	10 億円	(R6) 1,641 (R7) 1,379
文化財保存基金	10 億円	(R6) 1,354 (R7) 1,235
琵琶湖研究基金	2 億円	(R6) 357 (R7) 304
平和祈念館整備運営基金	2 億円	(R6) 374 (R7) 318

（2）県債残高の縮減および将来の公債費負担の軽減 43 億円

	発行抑制	年度末残高見込み（百万円）
行政改革推進債	43 億円	(R6) 県債全体 1,096,101 (うち臨時財政対策債以外 702,419)